

# 「音楽教育実践報告誌」投稿規約

2022年9月21日

## 1 応募資格

会員登録されている学生から一般会員まで、どなたでも応募することができます。尚、未入会の方は本研究学会ホームページ (<https://www.shizuoka-mes.com/>) の入会申し込みフォームから会員登録ができます。(会員資格については本学会会則をご参照ください。)

## 2 応募内容

音楽・音楽教育に関わる未発表のものを条件に、次の5つの領域での応募を行います。

### (1) 学術研究 (論文)

教育研究、演奏解釈、楽曲分析、教育論等に関する論文で、学術研究としての形式を備え、獨創性、有用性を示しているもの

### (2) 研究ノート

研究の完成度は高くないが、その前段階としてある程度まとめられたものであり、学会誌の内容としてふさわしいと認められるもの

### (3) 実践報告

教育現場での実践例や、教材研究、資料等、会員にとって有用となる報告を幅広く受け付けます。皆さんの日頃の成果を発表いただき、情報共有の場としてご活用ください。また、学校教育現場に関することに限定しませんので、演奏報告、演奏研究等、音楽に関わることであれば投稿可能です。(原稿枚数 2~8 ページ)

原稿例：

- ・ 授業提案
- ・ 授業報告
- ・ 教材研究
- ・ 演奏報告
- ・ 演奏研究 等

### (4) 書評

音楽教育や演奏論、解説、学校教育等に関する印刷物についての検討、評価、意見等

### (5) 批評

演奏作品や演奏についての検討、評価、意見等

※尚、応募件数が2編より少ない場合は次号による掲載といたします。

### 3 応募規定

#### ※ 学術研究（論文）及び研究ノート

- (1) ファイルはA4サイズ 40字 40行を規定値とし、上 35mm、下 30mm、左右 30mmの余白とします。
- (2) フォントの大きさはタイトル及び章、項目のみ 12Point で表記し、内容は 10.5Point とします。
- (3) フォントの種類は、日本字では MS 明朝体、英字では Century を基本とします。
- (4) 図表及び楽譜の大きさ指定はありません。
- (5) 文の冒頭には「抄録（要旨）」を 600 字以内にまとめて表記することとします。その際、研究内容に関わるキーワードを 5 つ以内で表記することとします。
- (6) 応募原稿枚数は、4 ページ以上、上限 20 ページ以内とします。

#### ※ 実践報告・書評・批評

- (1) 書式の規定（ファイルサイズ、フォント指定、図表及び楽譜）は学術研究（論文）及び研究ノートに準じますが、「抄録（要旨）」及びキーワードについては表記の義務はありません。
- (2) 応募原稿枚数は、実践報告 2～8 ページ、書評・批評 2～6 ページの範囲とします。

### 4 査読・審査及び選考

応募原稿は、報告誌の発行のために設置される査読委員会〔学術研究（論文）〕・審査委員会〔研究ノート・実践報告・書評・批評〕によって選定され、掲載の可否が応募者に報告されます。掲載にあたって不適切な部分が生じた場合は、査読委員会・審査委員会より修正をお願いする場合があります。また、万一、著作権及び不適切な侵害行為があった場合は、掲載を取り下げることがあります。（尚、選定結果は発行日のおおよそ 2 ヶ月前に通知する予定ですが、若干の変動があることをご承知ください。）

### 5 報告誌の公開

この「音楽教育実践報告誌」は査読委員会・審査委員会を経て静岡音楽教育研究学会のホームページ上にて一般公開されます。また、掲載された論文については、以下のように取り扱うこととします。

- (1) 掲載された論文及び実践報告の著作権は、すべて本研究学会に所属します。
- (2) 掲載された論文等は、著者自身が学術、教育などの目的で使用することを承認します。

## 6 倫理に関すること

執筆にあたっては、「投稿チェックリスト」（参考：添付資料）をご覧ください、適正に研究、執筆がなされているかご確認ください。「投稿チェックリスト」は原稿提出時に併せてご提出ください。

(添付資料)

静岡音楽教育研究学会 音楽教育実践報告誌  
投稿チェックリスト

2019年12月1日付

- 1 投稿者（執筆者）は本学会の会員である。共同執筆の場合、筆頭者が本学会の会員である。  
(はい・いいえ)
- 2 投稿原稿は、投稿規約の中で領域ごとに定められている応募規定に沿って作成している。  
(はい・いいえ)
- 3 調査対象者・観察対象者・研究協力者等（以下、研究参加者）の人権の尊重及びプライバシーの保護について十分配慮した。特に個人情報の扱いには十分に注意した。  
(該当せず・はい・いいえ)
- 4 録画、録音、写真等の使用にあたって、事前に研究参加者や関係者（未成年の場合は保護者等）から了解を得ている。  
(該当せず・はい・いいえ)
- 5 関連する法令や関連する機関・団体の規則を遵守している。  
(該当せず・はい・いいえ)
- 6 著作権について確認し、引用と参照のルールを守っている。  
(該当せず・はい・いいえ)
- 7 研究の内容は投稿者のオリジナルであり、且つ未発表のものである。  
(はい・いいえ)
- 8 研究の内容及び手続全般において、人権の尊重と福祉に十分配慮した。  
(はい・いいえ)

ご氏名	
論文・報告題目	